

明野小学校学校だより

あけの

伊勢市立明野小学校

令和4年2月15日

発行人 岡村 昭

◇◇ 児童・保護者・教職員アンケート結果について（その1） ◇◇

昨年12月の便りでお知らせしたアンケート結果報告です。集計結果を掲載しましたのでご覧ください。以下にそれぞれの結果について分析したことの主なものをお知らせします。

【児童アンケート成果】

◇「困ったときに相談する相手がありますか」の項目が前年度比で6ポイント向上し、肯定的回答が88%となりました。「先生は、悩みや相談をよく聞いてくれる」の項目も前年度比で2ポイント向上（肯定的回答が92%）しており、児童の困り感に寄り添う取り組みが成果を見せ始めています。学校の先生以外でも、お家の方や友達等、自分にとって話しやすく、もやもやした気持ちを分かってくれる存在をみつけれられることはとても大切だと思います。

◇「友だちのことを考えて行動している。」の項目が前年度比で2ポイント向上し、肯定的回答が87%でした。いつも「人も自分もたいせつに」という声かけをしています、とてもいい傾向だと思います。

【児童アンケート課題】

◆「自分にはよいところがあると思う」の項目が前年度比で4ポイント下がり、77%でした。学校で子どもたちが活躍する場はたくさんあります。得意不得意はあっても、自分なりにやりがいがあったり、人の役に立っている実感をもてたりする「活動の場」があります。そういった「場」がコロナ禍によって減っていることは否めませんが、アイデアと工夫をすれば、子どもたちが活躍する機会を生み出せると思います。そんな取り組みの中から、自分の良さを感じられる子が一人でも多く出てくるように、指導していきたいです。

◆「自分から進んで元気よく挨拶をしている」の項目が前年度比で4ポイント下がり、肯定的回答が81%でした。地域の方や児童会が挨拶運動に取り組み、子どもたちも「挨拶をしなくてはいけない」という気持ちは持っているのですが、「進んで」とか「元気よく」という点では、自信を持っていないのかもしれない。お互いに挨拶や返事の良さを実感できるように、普段からたくさんの挨拶が交わせる雰囲気づくりをより一層進めていかなければなりません。

【保護者アンケート成果】

◇「学校は、自己評価や学校関係者評価を行い、結果を公表している。」「学校は、学校評価の結果を次年度の教育活動に生かしている。」の項目が前年比で4ポイント以上向上しました。評価結果に真摯に向き合い、強み弱みをはっきりさせて、具体的な改善活動につなげていこうとする取り組みの成果が少しずつではありますが、表れてきていると思います。

◇「教職員は、わかりやすい授業づくりにつとめている」の項目は、前年比で1ポイント向上し、肯定的回答は84%でした。「学校は、食の安全に配慮し、健全な食生活を送るための指導を行っている。」の項目も肯定的回答が93%と高評価をいただきました。一昨年から食教育を校内研修の中心に位置づけて取り組みを進めてきている成果が表れていると思います。来年度は伊勢市の委託を受けて2年目の年となりますので、引き続きこの取り組みを継続していきたいと考えています。

【保護者アンケート課題】

◆「授業、校外学習、学校行事などは児童・保護者のニーズに応えたものになっている。」の項目は、前年度比で6ポイント下がり、肯定的回答が78%でした。コロナ禍により、学校行事の計画が大幅に縮小されたことにより、その内容について子どもたちが十分満足していない事の表れではないかと思います。また、ご家庭の皆様が学校の様子を見ていただく機会も激減しました。前年度に比べて、運動会の6年生の係活動など、少しずつではありますが、子どもたちが活躍できる場を増やしているところです。新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、次年度の計画においては、子どもの活動を見ていただく機会をすこしでも増や

す工夫をしていきたいと考えています。

◆「学校は、いじめについて、きめ細かく対応している。」「学校は、不登校について、きめ細かく対応している。」の項目は、「わからない」という回答が40～60%という結果でした。次回からは、個別に対応している案件を全体のアンケート項目に入れることを見直し、「学校は、家庭からの相談、意見や要望に、親身になって対応している」の項目で評価をお願いする方向で検討したいと考えています。「いじめ」「不登校」ともに早期発見・早期対応が大切になってきます。今後も何かお気づきのことがありましたら、すぐに学校に連絡をお願いします。

【職員アンケートについて】

保護者アンケートと同様、「授業、校外学習、学校行事などは児童・保護者のニーズに応えたものになっている。」の項目では、「あてはまる」が前年度と比べ10ポイント程下がっていました。コロナ禍2年目を迎え、9月の短縮・オンライン授業のあり方や感染者数が落ち着いている時の行事のあり方等、思案と判断を繰り返しながら、「今の活動でいいのか」という反省の中、このような結果になっているのではないかと思います。昨年度は放送だけだった全校集会や児童会集会をZoomで行う等、ICTを活用した取り組みは進んでいます。今後は、コロナ情報を丁寧に分析し、できる行事を増やしていきたいと考えています。

また、本年度も、職員自己評価と保護者評価の差が大きい項目がありました。「一生懸命努力している」と自己評価しても、保護者のみなさんにそのことが届いてなければ、成果とは言えません。差の大きい項目ひとつひとつについて、今後も保護者のみなさんに丁寧な説明や情報発信をしていく必要があります。

※保護者アンケート自由筆記の内容につきましては、次号でお伝えします。

※以下の表の数値は概数であるため、合計しても100%にならない場合があります。

令和3年度 児童アンケート結果	1 あてはまる	2 まあまあ あてはまる	3 あまりあ てはまら ない	4 あてはま らない
1. 誰とでも仲良く遊んだり学習したりしようとしている	55%	39%	5%	1%
2. 困っている人を見かけたら、声をかけるようにしている	47%	41%	8%	4%
3. 友だちのことを考え行動している	42%	45%	10%	2%
4. 自分の思いや考えを言うことができる	34%	42%	19%	6%
5. 友達の思いや考えを聞いたりすることができる	55%	36%	7%	2%
6. うまくいかないことがあっても、最後までがんばろうとしている	54%	36%	8%	3%
7. 自分には良いところがあると思う	35%	42%	14%	9%
8. クラスの友達に大切にされている	42%	42%	10%	5%
9. 自分から進んで元気よく挨拶をしている	46%	34%	14%	6%
10. 正しい言葉づかいができる	32%	52%	12%	5%
11. 給食は、好き嫌いなく食べている	55%	26%	11%	8%
12. 掃除を一生懸命している	57%	34%	7%	2%
13. 交通ルールを守り、安全に登下校をしている	66%	30%	3%	1%
14. 先生は、よいことや努力したことをほめてくれる	63%	28%	7%	2%
15. 先生は、いじめや悪いことをしたときに、きちんと指導してくれる	77%	18%	4%	1%
16. 先生は、悩みや相談をよく聞いてくれる	67%	24%	6%	2%
17. 困った時に相談する人がいますか	88%		12%	

令和3年度 保護者アンケート結果			1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 情報不足のため回答保留
学校経営	1	学校は、学校教育目標やいじめ防止基本方針を示している。	25.3%	49.2%	3.5%	0.3%	21.7%
	2	学校は、自己評価や学校関係者評価（保護者・学校評議員等）を行い、結果を公表している	30.0%	43.7%	3.5%	0.0%	22.7%
	3	学校は、学校評価の結果を次年度の教育活動に生かしている	15.9%	42.7%	5.8%	0.0%	35.6%
教育課程	4	授業、校外学習、学校行事（計画・内容・日程）などは、児童・保護者のニーズに応えたものになっている	18.9%	58.6%	15.9%	2.0%	4.5%
	5	学校は、健康の保持増進・衛生に関する指導を適切に行っている	33.1%	56.1%	4.5%	0.5%	5.8%
	6	学校は、食の安全に配慮し、健全な食生活を送るための指導を行っている	44.7%	48.0%	1.8%	0.0%	5.6%
	7	学校は、防災訓練、引き渡し訓練、登下校の交通指導など、非常時や日常の防災・安全指導を行っている	34.8%	50.0%	7.3%	1.0%	6.8%
	8	学校は、いじめについて、きめ細かく対応している	12.6%	35.4%	7.6%	1.0%	43.4%
	9	学校は、不登校について、きめ細かく対応している	9.8%	21.0%	4.8%	0.5%	63.9%
教職員	10	教職員は、わかりやすい授業づくりにつとめている。	37.4%	46.7%	5.3%	0.3%	10.4%
	11	教職員は、児童の気持ちを理解しようとする姿勢を持ち、児童との信頼関係を築くよう努めている	36.1%	45.7%	7.8%	1.8%	8.6%
	12	学校は、家庭からの相談、意見や要望に、親身になって対応している	37.4%	46.2%	4.8%	1.3%	10.4%
その他	13	学校は、外部人材を活用したり、体験活動を積極的に取り入れたりして、子どもの関心・意欲を高めている	30.8%	48.5%	3.8%	1.5%	15.4%
	14	P T Aの諸活動が適切に計画され、保護者と学校間で連携が図られている	21.2%	49.5%	6.3%	1.3%	21.7%
	15	学校は、児童・生徒に関する個人情報の適正な取扱いに努めている	33.3%	44.7%	1.5%	0.5%	19.9%
	16	学校の施設設備（校舎・体育館・校庭）はよく整備され、管理が行き届いている	26.3%	52.3%	9.1%	2.8%	9.1%
	17	学校は、体罰防止に努めている	36.1%	29.3%	0.8%	0.3%	33.6%

6年生の福西陽奈乃さんと谷田楓華さんが、年末に行われた第30回全国小学生バドミントン選手権大会に出場しました。2人とも日々の努力が実った快挙です。右の写真は、市長・教育長表敬訪問の時の様子です。



令和3年度 教職員アンケート結果		1 あて はまる	2 ややあ てはまる	3 あま りあては まらない	4 あて はまら ない	5 情報 不足の ため回 答保留	
教育目標	1	学校は、学校教育目標やいじめ防止基本方針を示している。	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	2	学校は、自己評価や学校関係者評価（保護者・学校評議員等）を行い、結果を公表している	71.0%	29.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3	学校は、学校評価の結果を次年度の教育活動に生かしている	54.8%	45.2%	0.0%	0.0%	0.0%
教育課程	4	授業、校外学習、学校行事（計画・内容・日程）などは、児童・保護者のニーズに応えたものになっている	12.9%	80.6%	6.5%	0.0%	0.0%
	5	学校は、健康の保持増進・衛生に関する指導を適切に行っている	41.9%	58.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	6	学校は、食の安全に配慮し、健全な食生活を送るための指導を行っている	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	7	学校は、防災訓練、引き渡し訓練、登下校の交通指導など、非常時や日常の防災・安全指導を行っている	64.5%	32.3%	3.2%	0.0%	0.0%
	8	学校は、いじめについて、きめ細かく対応している。	64.5%	35.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	9	学校は、不登校について、きめ細かく対応している。	48.4%	41.9%	3.2%	3.2%	3.2%
教職員	9	教職員は、わかりやすい授業づくりにつとめている。	61.3%	38.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	10	教職員は、児童の気持ちを理解しようとする姿勢を持ち、児童との信頼関係を築くよう努めている	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	11	学校は、家庭からの相談、意見や要望に、親身になって対応している	64.5%	29.0%	6.5%	0.0%	0.0%
	12	学校は、外部人材を活用したり、体験活動を積極的に取り入れたりして、子どもの関心・意欲を高めている	74.2%	25.8%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	13	P T Aの諸活動が適切に計画され、保護者と学校間で連携が図られている	38.7%	58.1%	0.0%	0.0%	3.2%
	14	学校は、児童・生徒に関する個人情報の適正な取扱いに努めている	67.7%	32.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	15	学校の施設設備（校舎・体育館・校庭）はよく整備され、管理が行き届いている	29.0%	61.3%	6.5%	3.2%	0.0%
	16	学校は、体罰防止に努めている	83.9%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%